

図書館情報技術論

図書館における情報技術活用の現状4
日本の大学図書館

2013年11月11日

大学図書館とは

- 「大学図書館は大学の心臓部」
- 主な利用者
 - 学 生：学部学生、大学院生
 - 研究者：大学院生、研究員、教員
- 主な役割
 - 空間として・・・学修の場所、研究の場所
 - 機能として・・・学術的な情報を提供

大学図書館とは

- 学術的な情報を提供←Webサービスも
学術的な情報・・・でも、いろいろ違う
学問領域によって異なる
 - 速さを重視：自然科学系（特に理・工・医・薬）
 - 速さ特に必要としない：人文系・社会系

必要な情報の種類が違う

大学によって異なる（規模・学部の構成）

提供できるサービスが違う

大学図書館とは

- 新たな役割・・・「学内から学外へ」

大学の地域貢献

地域への一般開放

地域社会への知の還元

図書館報の学外への配布

学内で生産された学術的成果の発信（学術機関リポジトリ）

大学図書館とは

- 国立情報学研究所(NII)

大学図書館を支える組織

GeNii (NII学術コンテンツ・ポータル)・Cinii

SINET (学術情報ネットワーク)

NACSIS-CAT/ILL (目録所在情報サービス)

JAIRO (学術機関リポジトリポータル)

学認 (学術認証フェデレーション)

等々

Webサイトって何？

- 「Webサイト」=Web上のサービスの集まり
- そもそもWebとは？

今ではインターネット全般を指すこともある

WWW(World Wide Web)で必要なもの

情報を送る道路

通信網(ネットワーク)

通信規約

HTTP (**H**ypertext **T**ransfer **P**rotocol)

情報の表現言語

HTML(**H**yper**T**ext **M**arkup **L**anguage)

情報の蓄積・提供

Apache等のソフトウェア = **Webサイト**

情報の閲覧

Webブラウザ

インターネットの発展

- WWW以前(インターネット初期のサービス)
利用手段: 電子メール、ファイル転送(文字中心)
利用者: 大学・研究機関限定(商業利用不可)
- WWWの出現(1990年代)以降
利用手段: ブラウザ
(情報発信、マルチメディア情報も)
利用者: 民間開放(商業利用可能)
大学等の研究者 + 民間

大学図書館のWebサービス

- とりあえずOPACをWeb-OPACに
- 利用者に有効であろうWebサイトのリンク集
- 「電子図書館」
 - 貴重書をデジタル化してWeb上に公開
 - 紙の雑誌をスキャナで取り込んで学内に公開
(奈良先端科学技術大学院大学が最初)
- 様々なWeb上のデータベースを導入
 - CD-ROMからWeb上のオンラインデータベースへ
 - 雑誌記事索引、新聞記事など

大学図書館のWebサービス

- 電子化された資料の提供
 - 電子ジャーナル
 - 電子ブック
- 電子情報と紙媒体の混在
 - 統合的に検索できるサービスが求められる

大学図書館のWebサービス

- 検索システムとしてのOPACの高度化
 - ファセット表示、書影の表示など
 - 統合検索・横断検索
 - ディスカバリーインタフェース
- 新たな役割・試み
 - 学術機関リポジトリ
 - TwitterやFacebook等のSNSによる情報発信